


Print Islamic
RepublicIranian Supreme
Leader Khamenei
Photo: Reuters click here to
enlarge text click here to
reduce text『「穏健派」であり、
かつ「過激派」で
ある指導者か?』『このような
「穏健派」を伴い、
「過激派」を必要とす
るキリギリスか?』MLによるNota Bene
(ノータ・ベネ)

ハーメネー師：イスラム教世界を分化するイスラエル

イラン最高指導者はムシャラフ・パキスタン大統領に「シオニスト政権はイスラム世界を分化するために西側によって造られた」と語った。続けて、地域紛争は「米国の攻撃性とシオニストによる犯罪の時代が済めば」終結すると述べた。

Dudi Cohen (デュディ・コーヘン)

月曜日、イラン最高指導者アヤトッラー・セイイェド・アリー・ハーメネー師は、訪問中のベルヴェズ・ムシャラフ・パキスタン大統領将軍との会談で「シオニスト政権の確立はイスラム世界での継続的な紛争を生むために西側によってなされた行為だ」と述べた。

最近テヘランに到着したムシャラフ・パキスタン大統領は、パレスチナ人に対して犯罪を続けることを奨励するものとして、米国と英国がイスラエルを支援しているとの説明をハーメネー師から聞いた。

「中東に関係する計画は、米国の攻撃性に終止符を打ち、シオニストによる犯罪を阻止する時代が来るまでは、成功しない」とハーメネー師は述べた。



アフマディネジャド大統領(左)、ムシャラフ大統領とハーメネー師、月曜日テヘランにて(写真提供:AFP通信)

ハーメネー師はまた、パレスチナ問題についても着目し、ハマス政府が『「シオニスト」に対して立ち上がることがパレスチナ問題への道を示すのに役立っている』間、レバノン戦争中にイスラエルの脆弱性が明らかになったと語った。

ナタンツ核施設内の328基の遠心分離機

一方、月曜日、欧州の外交官らは、イランが地下核施設内にそれぞれ164基の遠心分離機を連結した2列のカスケードを設置し、本格的なウラン濃縮の基礎を築き、西側に対する長距離攻撃の危険性を増したと、報告した。

これらのカスケードは内部のウラン原料なしに近々試運転されることになっているが、テストに成功した場合、核燃料物質を加えるとのこと。328基の遠心分離機は、今後数カ月のうちに3,000基の予定設置の先駆けとなる。

イランは最近、巨大な地下総合施設に、いわゆる「工業規模」の濃縮開始に必要な配管、電気ケーブル、その他の機器の設置を済ませており、この施設は中央イラン砂漠の高射機関砲によって要塞のごとく取り囲まれている。